くろゆり通信

第175号　令和元年　7月発行
発行者　国土交通省中部地方整備局
天竜川上流河川事務所
小渋川砂防出張所
小渋川支部安全協議会

大鹿村に咲く幻の花、ヒマラヤの「青いケシ」

中村農園さんに咲く
青いケシ

今年の6月中旬には、青いケシの見ごろを迎えました。
青い花はヒマラヤ原産のメコノプシス。高温や乾燥に弱いなど栽培が非常に難しい為、雨季にしか見ることが出来ない「幻の花」と言われます。
この透き通るような青さは他に類を見ないと言っても過言ではないでしょう。
また、大池高原から眺める山々と同時に見る青いケシは非常に綺麗なものです。
今年は6月末にて、閉園致しました。毎年6月頃には見ごろを迎えます。
青いケシの花以外にも綺麗な花が咲きますので、来年度の開園が非常に楽しみです。

～あれから58年 想いおこす三六災害～

昭和36年6月29日午前9時10分頃に発生した大西山の崩落は大河原中心部を襲いました。
災害史上まれにみる惨事として記憶される三六災害はあれから58年の時を経ました。当時の方々は災害発生後にも関らず「自分の地域は自分で守るんだ！」と強い意志で復興に向け立ち上がりました。
当時、苦しい思いをした被災者の方々の復興という強い意志が今の大鹿村の美しい村と言われる源ではないかと私は考えます。
今私たちにできることは、被災された方々の思いを伝承し未来の安全と安心を繋ぐことが最重要命題であります。

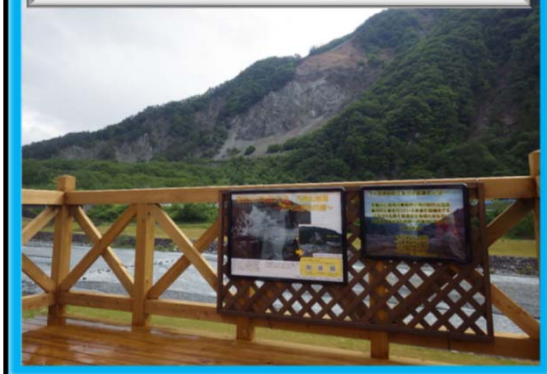
慰霊献花式の様子

三六災害では伊那谷全体で死者・行方不明者130名という甚大な被害がもたらされました。大西山の大崩落により42名の生命が一瞬にして奪われました。そのうち小渋川砂防出張所職員は6名です。天竜川上流河川事務所職員により、本年は6月28日に慰霊献花式が行われました。
梅雨の時期ですが、この日は良い天気の下、慰霊献花が行われました。

【歌舞伎の里展望デッキへ三六災害に関する看板を設置しました】

大河原砂防工事安全協議会は、歌舞伎の里裏にある展望デッキへ説明看板を設置しました。大西山崩落発生時の写真と目の前には現在の大西山が見え、当時の状況と比較することが出来ます。また、QRコードを読み取ることにより、当時の詳しい情報など得ることが出来ます。歌舞伎の里へお越しの際は、是非一度お寄り頂きご覧ください。

展望デッキから眺める現在の大西山



大河原砂防工事安全協議会一同

展望デッキでの記念撮影

慰霊碑へご冥福をお祈りし黙祷

【過去の災害から学ぶ工事の必要性と小渋川砂防出張所管内各現場の進捗状況】

大河原地区災害状況

工事名：平成30年度
天竜川水系滝沢第2砂防堰堤工事
施工者：木下建設株式会社　進捗率：10.1%

工事名：平成31年度
天竜川水系小渋川管内整備工事
施工者：株式会社吉野組　進捗率：2.5%

鹿塩地区災害状況

工事名：平成30年度
天竜川水系小渋川管内砂防施設修繕工事
施工者：株式会社吉野組　進捗率：85.0%

工事名：平成30年度
天竜川水系小渋川除石工事
施工者：神稲建設株式会社　進捗率：5.5%

工事名：平成30年度
天竜川水系塩川第2砂防堰堤工事
施工者：大協建設株式会社　進捗率：15.9%

工事名：平成30年度
天竜川水系鹿塩川除石工事
施工者：木下建設株式会社　進捗率：1.2%

工事名：平成30年度
天竜川水系塩川床固工事
施工者：大協建設株式会社　進捗率：11.8%

過去の災害を基に、河川改修・土砂災害対策の計画が立てられます。その為、現在では砂防堰堤工事及び除石工事による土石流発生時の対策、床固及び護岸工事による河床、河岸の補強、管内整備工事による維持工事を行っています。
各所において、本格的に稼働する現場が増えてきます。地元の方への配慮、安全第一に努めてまいりますので、引続きご理解・ご協力の程よろしくお願いします。